

衆議院法務委員会ニュース

平成 20.11.14 第 170 回国会第 2 号

11 月 14 日、第 2 回の委員会が開かれました。

1 裁判所の司法行政、法務行政及び検察行政、国内治安、人権擁護に関する件

- ・森法務大臣、倉田総務副大臣、佐藤法務副大臣、伊藤外務副大臣、早川法務大臣政務官、政府参考人及び最高裁判所当局に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

矢野 隆 司君(自民)

- ・法科大学院の内容を充実させるために具体的にどのように取り組んでいくのか、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・平成 16 年から 5 年間で不法滞在者を半減させることを目指した「不法滞在者半減計画」は本年 12 月が終了期日であると思うが、現在の進捗状況を伺いたい。
- ・裁判員制度について、広報・啓発活動の現状と今後の予定及び、「裁判員候補者名簿への記載のお知らせ」の内容について伺いたい。

赤池 誠 章君(自民)

- ・そもそもなぜ裁判員制度が必要なのか、裁判員制度を導入する目的、意義について、改めて国民にわかりやすく説明する必要があると考えるが、法務当局の見解を伺いたい。
- ・国籍法改正案で新設されることとなっている、虚偽の国籍取得の届出をした者に対する罰則が軽すぎるとの懸念について、法務当局の見解を伺いたい。
- ・人権擁護法案に対する法務大臣の所見を伺いたい。

神崎 武 法君(公明)

- ・法曹人口問題、法科大学院の見直し問題について、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・一般の国民が参加する裁判員制度においては、精神鑑定は公平でわかりやすいものに改善すべきであると考えますが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・殺人罪のような重大犯罪の公訴時効の廃止を検討してはどうかと考えるが、法務当局の見解を伺いたい。

細川 律 夫君(民主)

- ・昨年、徳島刑務所では大問題が発生した。法務大臣は、刑務所関係を視察するのならば、まずこういった刑務所から視察すべきであると思うが、大臣の考えを伺いたい。

- ・衆議院韓国及び欧州各国司法・法務事情等調査議員団による裁判員制度に関する提言では、「小合議体の積極的活用」「事件ごとの裁判員候補者数の大幅削減」「裁判員辞退の柔軟な認定」とあるが、最高裁当局はどのように考えているのか。
- ・同議員団による死因究明制度改革に関する提言では、死因究明制度改革についての審議会を設置するべきとあるが、法務大臣の考えを伺いたい。

加藤 公 一君(民主)

- ・会計検査院の平成 19 年度検査報告で法務省が指摘された国有財産となる土地などの未登記について法務大臣の所見を伺いたい。
- ・固定資産税を免除されている団体に対する不動産の表示に関する登記の申請義務を免除する規定を見直す必要があると思うが法務大臣の所見を伺いたい。
- ・検察における証拠品の誤廃棄及び紛失が近年多いが、それを防止するためにどのような対応策を講じているのか。

河村 たかし君(民主)

- ・本年 10 月に、麻生総理大臣の私邸に向かうイベントを開き、無許可での集団示威運動及び公務執行妨害で 3 名が現行犯で逮捕された事件について、警察当局はどのように認識しているか。また、インターネットの動画配信サイトに配信されている映像等を元に検証を行う必要はないか。
- ・名古屋刑務所平成 13 年 12 月事案に関して、法務当局は「消防用ホースを用いた」旨の答弁を行ってきたが、実際は、消火栓ではなく水道栓に廃棄済とされていた消防用ホースを接続して放水したのではないかと。よって、「誤解」を招きかねない答弁は訂正されるべきではないか。
- ・同事案が起こった際の現場の状況に合わせて、名古屋刑務所において、放水実験を行う必要はないか。また、同事案の一連の経緯に対する法務大臣の感想を伺いたい。

高山智司君（民主）

- ・人身取引の被害者となる者が多くいる「興行」の在留資格による入国者については、新規入国者数が減少しているが、どのような対策により、どの程度減少しているのか。
- ・チャリティーコンサートに出演するとして興行ビザを取らずに短期滞在ビザで入国したフィリピン人女性が不法就労した事件について、倉田総務副大臣の元秘書がそのビザの発給に関与していたと報道されているが、倉田副大臣はどのようにかかわっていたか。
- ・平成研究会から倉田総務副大臣の資金管理団体に対し、平成 17 年に 200 万円の寄附がされているが、政治資金収支報告書への記載について、倉田副大臣の認識はどうか。

保坂展人君（社民）

- ・国連自由権規約委員会による日本政府に対する改善勧告が出される直前の死刑執行は、日本は国際社会の人権をめぐる議論に耳を貸さないことを表明していることにならないか、法務大臣の認識を伺いたい。
- ・クリスマス日に自立歩行ができないクリスチャンの死刑囚の刑を執行することがあったが、国際社会の中で人権が議論されていることを考えると、配慮が必要であったのではないかと。

2 国籍法の一部を改正する法律案（内閣提出第 9 号）

- ・森法務大臣から提案理由の説明を聴取しました。